

平成 27 年 2 月 27 日

狛江市長
高 橋 都 彦 様

狛江市男女共同参画推進委員会
委員長 西山 偕子

狛江市の男女共同参画にかかる提言について（答申）

平成 25 年 8 月 7 日付け狛企政発第 100328 号にて狛江市長より諮問のあった「男女共同参画に係る計画の推進に関する事及び男女共同参画社会の実現に関する事」について、当委員会において審議を重ねた結果、別紙のとおり答申としてまとめましたので、報告いたします。

狛江市の男女共同参画にかかる提言について

狛江市男女共同参画推進委員会は、平成 23 年 5 月に設置されました。その後平成 25 年 4 月に、条例で設置される市長の諮問機関となり、平成 25 年 8 月に市長から諮問を受けました。諮問を受け任期 1 年半をかけて、狛江市の男女共同参画社会の実現に向け、議論を重ねてきました。

誰もが男女共同参画について身近に考え、

社会全体で暮らしやすいまちをつくっていくこと

を目指し、提言します。

【提言 1】男女共同参画推進事業についての効果的な情報公開の徹底

(現状と課題)

- ・ 狛江市男女共同参画推進計画の事業が、市民にあまり知られていない。
- ・ 市役所の担当部署や相談先がわかりにくい。

具体的提言

1. ホームページを活用した計画や事業の周知
2. わかりやすい説明や案内等の効果的な情報発信

<現状>

- ◇ 狛江市民の「狛江市男女共同参画推進計画」の認知度 19.3%
- ◇ 狛江市民のDVの相談先としての市役所の認知度
 - 狛江市役所政策室 21.9%
 - 狛江市役所子育て支援課 17.6%

* 狛江市男女共同参画に関する市民意識調査報告書より (H26.9)

【提言 2】男女共同参画社会実現のための推進体制の充実

(現状と課題)

- ・ 施策の推進に当たっては、行政だけでなく市民目線からの取り組みが必要である。
- ・ 男女共同参画は狛江市だけの問題ではないが、各自治体での取り組みや状況を把握していない実情がある。
- ・ 他自治体の幅広い意見を聞いたり、取り組み内容を知ることによって、狛江の施策に還元できる。

具体的提言

1. 狛江市男女共同参画推進委員会の委員数増加による組織力の強化
2. 市民を含めた自治体間交流と広域連携の推進

<事例>

多摩3市男女共同参画推進共同研究会事業

(平成25年度から狛江市、小金井市、国立市の3市で連携して実施)

→3市で連携し広域的な活動が実施できた。

→行政だけの連携に終わらせない取組みが必要。

→さらに幅広い地域へ波及させていくことで効果的な事業実施へ。

【提言3】新たな分野への男女共同参画の推進

(現状と課題)

- ・あらゆる分野で男女が参画し、多面的な視点からの取組みが必要である。
- ・男女共同参画社会の実現に向けて青少年への理解を促進することも必要である。

具体的提言

1. 防災分野への女性の参画の推進
2. 介護や子育て支援への男性の参画の推進
3. 青少年への男女共同参画社会の理解促進

<現状>

◇狛江市民の男女共同参画社会づくりのため力を入れるべきだと思う施策

- | | | |
|----|---------------------|-------|
| 1位 | 介護サービスの充実 | 38.7% |
| 2位 | 子育て支援サービスの充実 | 37.9% |
| 3位 | あらゆる分野における女性の積極的な登用 | 26.8% |
| 4位 | 男性の家庭責任への参加と意識改革 | 21.2% |

* 狛江市男女共同参画に関する市民意識調査報告書より (H26.9)